

高知県では、平成16年度に「県産材利用促進方針」を定め、公共工事での木材利用に取り組んでいます。

今回は、平成28年度に実施した木製床固工等について紹介します。

○工事の概要

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 工 事 名 | 高野林地荒廃防止工事（林地荒廃第113号） |
| 最終契約額 | 24,135,840円 |
| 工 期 | 平成28年9月30日から平成29年3月25日 |
| 工 種 | 床固工（木製校倉式）2基 護岸工（木製校倉式）2基（L=38.2m） |

○工事の目的

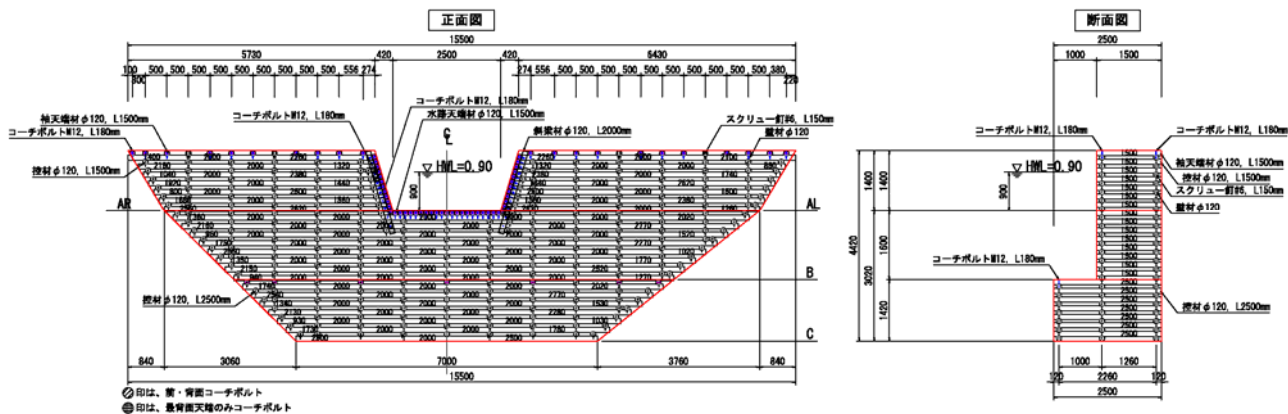
豪雨により発生した溪岸の浸食や、溪流内に堆積している不安定土砂の移動抑止し下流保全対象の安全を図ることを目的としている。

○主な構造

床固工及び護岸工ともに木製校倉式構造となっている。

校倉式とは、横材（壁材）と縦材（控材）を井桁に組み、内部に土石（当現場では栗石）を詰める方式です。

構造図



○木製校倉式床固工ができるまで
枠組立て



石詰



完 成

